

看護系大学における保健師国家試験受験資格取得に 関するニーズ調査

神原 惠
井上 清美
山岡 紀子
川崎絵里香

1 目的：保健師教育課程改正の動きのなかで、看護系大学の学生或いは兵庫県内の保健師はどのようなニーズを有しているのかを探り、本学における保健師教育課程の方向性を策定する上での資料とする。

2. 研究方法：対象：①兵庫県内の看護系大学の在学生、②兵庫県健康福祉事務所とその管内市町並びに神戸市保健所等に所属する実習指導に関与する保健師

調査期間：平成23年1月から3月。調査方法：①在学生は、当該校の教員から直接配布・無記名で回収②保健師は、各施設宛一括郵送し、回答は無記名により個別の郵送で回収した。分析方法：統計的解析はSPSS14j for windows を用いた。倫理的配慮：研究倫理委員会の承認を得た。また、対象者への同意と協力は、文書で説明・確約し、対象者からの回答により同意とみなした。

3. 結果

1) 学生ニーズ <対象の属性> 3大学の学生358人から回答を得た（回収率は68%）。学年別にみると、2年：149人（41.6%）、3年：120人（33.5%）4年：84人（24.9%）。地域看護学講義は履習済み・履習中が99%、実習の履習済み・履習中は53% <資格取得希望と就業したい職種> 看護師資格は、必ず取得したい353人でほぼ全員が望んでいる。保健師資格は、134人（39.2%）である。また、養護教諭免許の希望は14%と一定のニーズを示している。看護師として必ず就職したいは279人（79.7%）で、資格取得希望の割合と比較すると約20%低い。保健師は6.1%と資格取得希望の割合と比較すると約33%低くなっている。 <教育課程> 看護師、保健師とも全員必修となる統合教育を肯定する者が6割近くを占めているが、看護師と保健師の国試を同時期に受けたたいは、49%と低くなっている。他方「そう思う」の回答率をみると、選択制の支持3割、専攻科1割強、大学院希望者は少数であった。また、保健師を志望する者に、選択制（75.7%）や専攻科（82.6%）を肯定する者が多い。

2) 保健師ニーズ <対象の属性> 兵庫県・神戸市・市町の保健師合計315人から回答を得た（回収率50.1%）。 <教育課程> 保健師教育の選択制、専攻科を支持する意向はどちらも74%と高い。 <実習受け入れ> 学生が保健師を志望（将来含む）していることを肯定（89%）と多く、特に経験年数の多い者ほど肯定割合が有意に高い。

4. まとめ

県・市・町の保健師は、保健師志望者への保健師教育課程を望んでいる。保健師を志望する学生には、選択制や専攻科を肯定する者が多い。学生は、保健師資格を必ず取得したいとするものの必ず就職したいは6%と激減している。採用枠が看護師に比して少ないこともあるが、この乖離は制度的問題の所在を示唆しており、保健師に特化した教育課程の設定が望ましいと考える。